



富良野 ファーム富田



発行所

北海道自家用自動車協会連合会
編集兼発行人 辻澤英隆
札幌市東区北二〇東一(郵便番号065-0010)
電話 (011) 721-4578



新年のご挨拶

北海道自家用自動車協会連合会

会長 竹内

巖

新年、明けましておめでとうございます。2026年の新春を迎えるあたり、一言ご挨拶を申し上げます。皆様におかれましては、輝かしい新年をご家族とともに迎えられましたこと、心からお慶びを申し上げます。

平素は、北海道自家用自動車協会連合会(以下、当連合会)に対しまして、深いご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の世界経済はトランプ

関税による影響が顕在化し、不確実な見通しの中で、相対的には下振れリスクが大きくなりました。我が国におきましては、10月に自民党の新しい総裁が首相に選出され、維新の会との連立政権が誕生しました。日本経済ですが、輸出が増加した一方で、個人消費は最も弱い状況となりました。物価による実質可処分所得の伸び悩みや節約志向の強まりなどが背景となって、足元の物価上昇は食料品を中心とした供給ショックが大きくなりました。

移動の道具として普及している自動車の保有台数(軽自動車を含む)についてですが、令和7年11月末現在、全国で約8270万台、道内では約374万台を数えています。今や自動車は、経済・産業のみならず、日常生活において、あらゆるところで利用される必要不可欠なものとなっています。その反面、地球環境に大きな影響を与える排気ガスや騒音等の公害問題、さらには痛ましい交通事故の多発が大きな社会問題となっています。

道内における交通事故発生状況で

ます。

当連合会としましては、交通事故防止対策を最重要な使命と捉え、道民・会員に対する安全啓発材の配布、優良運転者の表彰、街頭啓発、

交通安全旗の配布、ラジオを通じての広報活動、北海道自家用新聞の刊行等、特に、冬期間の事故多発に対する「冬期交通事故防止キャンペー

ン」を実施する等、全力で取り組みを進め、本年も引き続き継続してまいります。

自家用自動車の健全な普及発展と輸送秩序の確立を図るため、事業の柱となるナンバープレートの交付、封印の取付け業務、無保険バイクの街頭指導、自動車登録の相談、自動車共済事業等の業務を本年も的確に

行つてまいります。

また、整備不良による自動車事故を防止するため、自動車ユーヶーの皆様に点検整備の重要性について周知を図るとともに、「自動車点検整備推進運動」、「不正改造車の排除運動」について、積極的に推進してまいります。

観光振興や地方振興を目的とした「地方版図柄入りナンバープレート」は、平成30年10月に第1弾として、全国41地域毎に図柄設定されたナン

バーープレートが交付開始されました。北海道は、第2弾として令和2年5月に、新たに追加された17地域

の中でも、「苫小牧」「知床」の2地域が交付開始されました。

全国版図柄入りナンバープレートにつきまして、令和7年11月時点

で、「花柄ナンバー」は、北海道では約5万4千件、「大阪・関西万博ナンバー」は、約5千5百件、「園芸

博覧会記念ナンバー」は、約700

件の申込状況となっています。ま

た、昨年5月には、新たな追加地域として「十勝」の他4地域の交付が行われました。

このほか、全国的な課題としまして、税制改正に対する取り組みを行っています。(1)環境性能割の廃止若しくは税額確認の簡素化、(2)経年車に対する課税重課措置の廃止、(3)自動車重量税の廃止若しくは当分の間税率から本則税率の適用へ、(4)クリーンエネルギー自動車の取得・保有・走行段階車体課税の優遇等、(5)「当分の間税率」の廃止およびタックス・オン・タックスの解消、(6)営業用・自家用格差の撤廃、などの事項について、政府・国会等の関係機関に要望してまいります。

今後とも、当連合会の運営に対し、皆様のご支援・ご協力をお願いとともに、新しい年が平和で希望の持てる良い年になりますよう、心から念願するものであります。

終わりに、皆様のますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

自動車の保有台数(軽自動車を含む)についてですが、令和7年11月末現在、全国で約8270万台、道内では約374万台を数えています。今や自動車は、経済・産業のみならず、日常生活において、あらゆるところで利用される必要不可欠なものとなっています。その反面、地球環境に大きな影響を与える排気ガスや騒音等の公害問題、さらには痛ましい交通事故の多発が大きな社会問題となっています。

道内における交通事故発生状況で

ます。

自家用自動車の健全な普及発展と輸送秩序の確立を図るため、事業の柱となるナンバープレートの交付、封印の取付け業務、無保険バイクの街頭指導、自動車登録の相談、自動車共済事業等の業務を本年も的確に

行つてまいります。

また、整備不良による自動車事故を防止するため、自動車ユーヶーの皆様に点検整備の重要性について周知を図るとともに、「自動車点検整備推進運動」、「不正改造車の排除運動」について、積極的に推進してまいります。

観光振興や地方振興を目的とした「地方版図柄入りナンバープレート」は、平成30年10月に第1弾として、全国41地域毎に図柄設定されたナン

バーープレートが交付開始されました。北海道は、第2弾として令和2年5月に、新たに追加された17地域

の中でも、「苫小牧」「知床」の2地域が交付開始されました。

全国版図柄入りナンバープレートにつきまして、令和7年11月時点

で、「花柄ナンバー」は、北海道では約5万4千件、「大阪・関西万博ナンバー」は、約5千5百件、「園芸

博覧会記念ナンバー」は、約700

件の申込状況となっています。ま

た、昨年5月には、新たな追加地域として「十勝」の他4地域の交付が行われました。

このほか、全国的な課題としまして、税制改正に対する取り組みを行っています。(1)環境性能割の廃止若しくは税額確認の簡素化、(2)経年車に対する課税重課措置の廃止、(3)自動車重量税の廃止若しくは当分の間税率から本則税率の適用へ、(4)クリーンエネルギー自動車の取得・保有・走行段階車体課税の優遇等、(5)「当分の間税率」の廃止およびタックス・オン・タックスの解消、(6)営業用・自家用格差の撤廃、などの事項について、政府・国会等の関係機関に要望してまいります。

今後とも、当連合会の運営に対し、皆様のご支援・ご協力をお願いとともに、新しい年が平和で希望の持てる良い年になりますよう、心から念願するものであります。

終わりに、皆様のますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

自家用自動車の健全な普及発展と輸送秩序の確立を図るため、事業の柱となるナンバープレートの交付、封印の取付け業務、無保険バイクの街頭指導、自動車登録の相談、自動車共済事業等の業務を本年も的確に

行つてまいります。

また、整備不良による自動車事故を防止するため、自動車ユーヶーの皆様に点検整備の重要性について周知を図るとともに、「自動車点検整備推進運動」、「不正改造車の排除運動」について、積極的に推進してまいります。

観光振興や地方振興を目的とした「地方版図柄入りナンバープレート」は、平成30年10月に第1弾として、全国41地域毎に図柄設定されたナン

バーープレートが交付開始されました。北海道は、第2弾として令和2年5月に、新たに追加された17地域

の中でも、「苫小牧」「知床」の2地域が交付開始されました。

全国版図柄入りナンバープレートにつきまして、令和7年11月時点

で、「花柄ナンバー」は、北海道では約5万4千件、「大阪・関西万博ナンバー」は、約5千5百件、「園芸

博覧会記念ナンバー」は、約700

件の申込状況となっています。ま

た、昨年5月には、新たな追加地域として「十勝」の他4地域の交付が行われました。

このほか、全国的な課題としまして、税制改正に対する取り組みを行っています。(1)環境性能割の廃止若しくは税額確認の簡素化、(2)経年車に対する課税重課措置の廃止、(3)自動車重量税の廃止若しくは当分の間税率から本則税率の適用へ、(4)クリーンエネルギー自動車の取得・保有・走行段階車体課税の優遇等、(5)「当分の間税率」の廃止およびタックス・オン・タックスの解消、(6)営業用・自家用格差の撤廃、などの事項について、政府・国会等の関係機関に要望してまいります。

今後とも、当連合会の運営に対し、皆様のご支援・ご協力をお願いとともに、新しい年が平和で希望の持てる良い年になりますよう、心から念願するものであります。

終わりに、皆様のますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

自家用自動車の健全な普及発展と輸送秩序の確立を図るため、事業の柱となるナンバープレートの交付、封印の取付け業務、無保険バイクの街頭指導、自動車登録の相談、自動車共済事業等の業務を本年も的確に

行つてまいります。

また、整備不良による自動車事故を防止するため、自動車ユーヶーの皆様に点検整備の重要性について周知を図るとともに、「自動車点検整備推進運動」、「不正改造車の排除運動」について、積極的に推進してまいります。

観光振興や地方振興を目的とした「地方版図柄入りナンバープレート」は、平成30年10月に第1弾として、全国41地域毎に図柄設定されたナン

バーープレートが交付開始されました。北海道は、第2弾として令和2年5月に、新たに追加された17地域

の中でも、「苫小牧」「知床」の2地域が交付開始されました。

全国版図柄入りナンバープレートにつきまして、令和7年11月時点

で、「花柄ナンバー」は、北海道では約5万4千件、「大阪・関西万博ナンバー」は、約5千5百件、「園芸

博覧会記念ナンバー」は、約700

件の申込状況となっています。ま

た、昨年5月には、新たな追加地域として「十勝」の他4地域の交付が行われました。

このほか、全国的な課題としまして、税制改正に対する取り組みを行っています。(1)環境性能割の廃止若しくは税額確認の簡素化、(2)経年車に対する課税重課措置の廃止、(3)自動車重量税の廃止若しくは当分の間税率から本則税率の適用へ、(4)クリーンエネルギー自動車の取得・保有・走行段階車体課税の優遇等、(5)「当分の間税率」の廃止およびタックス・オン・タックスの解消、(6)営業用・自家用格差の撤廃、などの事項について、政府・国会等の関係機関に要望してまいります。

今後とも、当連合会の運営に対し、皆様のご支援・ご協力をお願いとともに、新しい年が平和で希望の持てる良い年になりますよう、心から念願するものであります。

終わりに、皆様のますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

自家用自動車の健全な普及発展と輸送秩序の確立を図るため、事業の柱となるナンバープレートの交付、封印の取付け業務、無保険バイクの街頭指導、自動車登録の相談、自動車共済事業等の業務を本年も的確に

行つてまいります。

また、整備不良による自動車事故を防止するため、自動車ユーヶーの皆様に点検整備の重要性について周知を図るとともに、「自動車点検整備推進運動」、「不正改造車の排除運動」について、積極的に推進してまいります。

観光振興や地方振興を目的とした「地方版図柄入りナンバープレート」は、平成30年10月に第1弾として、全国41地域毎に図柄設定されたナン

バーープレートが交付開始されました。北海道は、第2弾として令和2年5月に、新たに追加された17地域

の中でも、「苫小牧」「知床」の2地域が交付開始されました。

全国版図柄入りナンバープレートにつきまして、令和7年11月時点

で、「花柄ナンバー」は、北海道では約5万4千件、「大阪・関西万博ナンバー」は、約5千5百件、「園芸

博覧会記念ナンバー」は、約700

件の申込状況となっています。ま

た、昨年5月には、新たな追加地域として「十勝」の他4地域の交付が行われました。

このほか、全国的な課題としまして、税制改正に対する取り組みを行っています。(1)環境性能割の廃止若しくは税額確認の簡素化、(2)経年車に対する課税重課措置の廃止、(3)自動車重量税の廃止若しくは当分の間税率から本則税率の適用へ、(4)クリーンエネルギー自動車の取得・保有・走行段階車体課税の優遇等、(5)「当分の間税率」の廃止およびタックス・オン・タックスの解消、(6)営業用・自家用格差の撤廃、などの事項について、政府・国会等の関係機関に要望してまいります。

今後とも、当連合会の運営に対し、皆様のご支援・ご協力をお願いとともに、新しい年が平和で希望の持てる良い年になりますよう、心から念願するものであります。

終わりに、皆様のますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

自家用自動車の健全な普及発展と輸送秩序の確立を図るため、事業の柱となるナンバープレートの交付、封印の取付け業務、無保険バイクの街頭指導、自動車登録の相談、自動車共済事業等の業務を本年も的確に

行つてまいります。

また、整備不良による自動車事故を防止するため、自動車ユーヶーの皆様に点検整備の重要性について周知を図るとともに、「自動車点検整備推進運動」、「不正改造車の排除運動」について、積極的に推進してまいります。

観光振興や地方振興を目的とした「地方版図柄入りナンバープレート」は、平成30年10月に第1弾として、全国41地域毎に図柄設定されたナン

バーープレートが交付開始されました。北海道は、第2弾として令和2年5月に、新たに追加された17地域

の中でも、「苫小牧」「知床」の2地域が交付開始されました。

全国版図柄入りナンバープレートにつきまして、令和7年11月時点

で、「花柄ナンバー」は、北海道では約5万4千件、「大阪・関西万博ナンバー」は、約5千5百件、「園芸

博覧会記念ナンバー」は、約700

件の申込状況となっています。ま

た、昨年5月には、新たな追加地域として「十勝」の他4地域の交付が行われました。

このほか、全国的な課題としまして、税制改正に対する取り組みを行っています。(1)環境性能割の廃止若しくは税額確認の簡素化、(2)経年車に対する課税重課措置の廃止、(3)自動車重量税の廃止若しくは当分の間税率から本則税率の適用へ、(4)クリーンエネルギー自動車の取得・保有・走行段階車体課税の優遇等、(5)「当分の間税率」の廃止およびタックス・オン・タックスの解消、(6)営業用・自家用格差の撤廃、などの事項について、政府・国会等の関係機関に要望してまいります。

今後とも、当連合会の運営に対し、皆様のご支援・ご協力をお願いとともに、新しい年が平和で希望の持てる良い年になりますよう、心から念願するものであります。

終わりに、皆様のますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

自家用自動車の健全な普及発展と輸送秩序の確立を図るため、事業の柱となるナンバープレートの交付、封印の取付け業務

道内自動車関連団体が協力して、自動車税制改正に関する街頭活動を実施した。自動車税制の実態を周知し、税制改正の実現を目的にした活動で、通行人に対して税制の問題点などを訴えた。

日本自動車連盟（JAF）札幌支部は、JR札幌駅周辺で街頭活動を実施。駅の利用者ら400人に對して、税制改正を訴えるチラシを配布



などと訴えた。

日本自動車連盟（JAF）札幌支部は、JR札幌駅周辺で街頭活動を実施。駅の利用者ら400人に對して、税制改正を訴えるチラシを配布

自動車税制改正求め街頭活動

道内自動車関連団体が協力して、自動車税制改正に関する街頭活動を

した。

帶広では、日本自動車販売協会連

合会（自販連）帶広支部と帶広地区

軽自動車協会、JAF帶広支部が協

力し、道の駅おとふけ（音更町）で

街頭活動を実施した。

自動車ユーザー

1人1人チラシを配布し、税制改正の

必要性を訴えた。また、十勝管内選

出の衆議院議員を訪問し、関係諸税

の簡素化や負担軽減の要望書を提出

した。

釧路では、イオン釧路昭和店、

自販連釧路支部と釧路軽自動車協会

とJAF釧路支部が共同で街頭活動

を実施。同様の活動は2023年か

ら始めて通算3回目。買い物客らに

チラシやノベルティを配布した。

函館では、自販連函館支部など函

館管内の自動車関連4団体が、向山

じゅん衆議院議員に「令和8年度税

制改正等に関する要望書」を手渡し

た。

要望活動は、函館地方自動車整備

の山積した課題に対して、こうした

事業者の自助努力のみで対応するの

はもはや困難な状況となっている。

一方で、道外のSS事業者は、経

営改善など

やカブエななどを併設し、収益改善

などにつなげた例が出てきている。

北海道経産局では、こうした事例

を参考にしつつ、各地域やSSの特

徴を踏まえた対策に乗り出そうとし

ている。

12月15日には、自治体やSS経営

者、大学教授などが参加し、SS維

持に向けて話し合う「SS過疎地対

策セミナー」を旭川市で開催した。

こうしたセミナー開催を契機に、各

地域でSS過疎地の課題認識や対応

促進につなげる考えだ。

河村支部長は「車の購入が進むよ

う税負担を軽減するべきと強く要望

する」とあいさつ。自販連函館支部

の松浦眞人専務理事が要望内容を説

明した。

向山議員は「車体課税について、

高市総理も総裁選で自動車環境性能

割の見直しを明言している。多くの

自動車ユーザーの皆さんが自動車関

係の税に対し負担を感じている。公

平・中立・簡素な税負担の在り方に

ついて、しっかりと取り組んでまい

りたい」と述べた。

一方で、道外のSS事業者は、経

営改善など

やカブエななどを併設し、収益改善

などにつなげた例が出てきている。

北海道経産局では、こうした事例

を参考にしつつ、各地域やSSの特

徴を踏まえた対策に乗り出そうとし

ている。

12月15日には、自治体やSS経営

者、大学教授などが参加し、SS維

持に向けて話し合う「SS過疎地対

策セミナー」を旭川市で開催した。

こうしたセミナー開催を契機に、各

地域でSS過疎地の課題認識や対応

促進につなげる考えだ。

河村支部長は「車の購入が進むよ

う税負担を軽減するべきと強く要望

する」とあいさつ。自販連函館支部

の松浦眞人専務理事が要望内容を説

明した。

向山議員は「車体課税について、

高市総理も総裁選で自動車環境性能

割の見直しを明言している。多くの

自動車ユーザーの皆さんが自動車関

係の税に対し負担を感じている。公

平・中立・簡素な税負担の在り方に

ついて、しっかりと取り組んでまい

りたい」と述べた。

一方で、道外のSS事業者は、経

営改善など

やカブエななどを併設し、収益改善

などにつなげた例が出てきている。

北海道経産局では、こうした事例

を参考にしつつ、各地域やSSの特

徴を踏まえた対策に乗り出そうとし

ている。

12月15日には、自治体やSS経営

者、大学教授などが参加し、SS維

持に向けて話し合う「SS過疎地対

策セミナー」を旭川市で開催した。

こうしたセミナー開催を契機に、各

地域でSS過疎地の課題認識や対応

促進につなげる考えだ。

河村支部長は「車の購入が進むよ

う税負担を軽減するべきと強く要望

する」とあいさつ。自販連函館支部

の松浦眞人専務理事が要望内容を説

明した。

向山議員は「車体課税について、

高市総理も総裁選で自動車環境性能

割の見直しを明言している。多くの

自動車ユーザーの皆さんが自動車関

係の税に対し負担を感じている。公

平・中立・簡素な税負担の在り方に

ついて、しっかりと取り組んでまい

りたい」と述べた。

一方で、道外のSS事業者は、経

営改善など

やカブエななどを併設し、収益改善

などにつなげた例が出てきている。

北海道経産局では、こうした事例

を参考にしつつ、各地域やSSの特

徴を踏まえた対策に乗り出そうとし

ている。

12月15日には、自治体やSS経営

者、大学教授などが参加し、SS維

持に向けて話し合う「SS過疎地対

策セミナー」を旭川市で開催した。

こうしたセミナー開催を契機に、各

地域でSS過疎地の課題認識や対応

促進につなげる考えだ。

河村支部長は「車の購入が進むよ

う税負担を軽減するべきと強く要望

する」とあいさつ。自販連函館支部

の松浦眞人専務理事が要望内容を説

明した。

向山議員は「車体課税について、

高市総理も総裁選で自動車環境性能

割の見直しを明言している。多くの

自動車ユーザーの皆さんが自動車関

係の税に対し負担を感じている。公

平・中立・簡素な税負担の在り方に

ついて、しっかりと取り組んでまい

りたい」と述べた。

一方で、道外のSS事業者は、経

営改善など

やカブエななどを併設し、収益改善

などにつなげた例が出てきている。

北海道経産局では、こうした事例

を参考にしつつ、各地域やSSの特

徴を踏まえた対策に乗り出そうとし

ている。

12月15日には、自治体やSS経営

者、大学教授などが参加し、SS維

持に向けて話し合う「SS過疎地対

策セミナー」を旭川市で開催した。

こうしたセミナー開催を契機に、各

地域でSS過疎地の課題認識や対応

促進につなげる考えだ。

河村支部長は「車の購入が進むよ

う税負担を軽減するべきと強く要望

する」とあいさつ。自販連函館支部

の松浦眞人専務理事が要望内容を説

明した。

向山議員は「車体課税について、

高市総理も総裁選で自動車環境性能

割の見直しを明言している。多くの

自動車ユーザーの皆さんが自動車関

係の税に対し負担を感じている。公

平・中立・簡素な税負担の在り方に

ついて、しっかりと取り組んでまい

りたい」と述べた。

一方で、道外のSS事業者は、経

営改善など

やカブエななどを併設し、収益改善

などにつなげた例が出てきている。

